青谷地区

青谷地区まちづくり協議会

会　　長	棚 田 美 紀 雄	所在地	鳥取市青谷町青谷 4082-1
事務局長	徳原　一実	TEL/FAX	0857-37-7420　/ 0857-85-0155
設立年月日	平成 20 年 12 月 25 日	Mail	cc- aoya@ it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	９４７世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/aoya-1
組織構成	地区安全部会、地区再生部会、健康・体育部会、福祉支援部会		

地域計画　『青谷地区まちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 10 月 21 日
- 支援宣言　平成 22 年 12 月 10 日
- 目　　標　地区住民が安心して生き生きと暮らせ、地域のみんなで取り組むまちづくりを目指す。
  - ◎ 地区安全部会　安心して暮らせるまちづくり
  - ◎ 地区再生部会　地域の歴史文化を生かしたまちづくり
  - ◎ 健康・体育部会　みんなが健康で生き生きと暮らせるまちづくり
  - ◎ 福祉支援部会　みんなで助け合い、支え合う福祉のまちづくり

◆ 地域の課題

本地区は少子高齢化が著しく進行しており、地域の各種役員は高齢化している。同じ人が何年も同じ役を務めていることが多いため、事業の継続という面では何とかできているが、反面、時代の変化に応じて事業を新しく考えていくというような場面では、なかなか変わりにくいという傾向がある。

本地域には、県の施設「青谷かみじち史跡公園」があり、そこを使って地域を盛り上げようといろいろな団体が意欲的に取り組んでいるが、横のつながりが弱く、互いにどんなことをしているのかよく分かっていない面がある。

◆ 主な活動内容

事業①　安心・安全なまちづくりの一環として、早朝街頭指導、見廻りパトロール、防災講習会等を例年行っている。能登半島地震をきっかけにして、令和７年に安全マップを更新したので、今年度はその活用を促す。

事業②　地域に残る文化財の保存と活用の一環として、かみじち史跡公園の PR やかみじち関連事業でまちづくりに関わることについて、まちづくり協議会として参加する。また、昨年度実施した「長尾鼻と夏泊を楽しむ」事業をバージョンアップして実施する。

事業③　住民の健康推進のために現在ある事業は継続しつつ、のびのび健康教室やミニトランポリンを使った講習会を取り入れ、各年齢層の健康意識を高めるとともに実技講習を行う。運動会の種目を工夫して参加者を増やす。

事業④　支え合う雰囲気をつくるために、高齢者のフレイル予防に関する講習会を行い、体や脳の機能が低下しても、助け合い、支え合って楽しく生活できるような地区にする。また、敬老会に代わるイベントとして、昨年度初めて実施した福祉支援部会主催「シニアの集い」を、今年度はさらに充実させる。

◆ 今後の計画

「青谷かみじち史跡公園」に、県内外から多くの人が来館しているので、まちづくり協議会としても積極的に関わり、青谷の魅力を多くの人に広めたい。また、現在行っている事業も継続しつつ、下記の方針で青谷地区を盛り上げ、住んで楽しい青谷地区を目指したい。

①きれいな町であることをアピールするために、川や海、青谷地区全体をより一層きれいにする

②高齢化に対応するために、若い力、主に中学生や高校生、大学生（鳥大）をボランティアとして協力依頼する。

特に、中・高校生・大学生が企画の段階から参画することにより、自分の力で事業を動かす楽しさを味わうことで、将来青谷地区のまちづくりに積極的に関わろうとする人材に育てたい。

③他の部会や各団体等との横のつながりを重視して、総合的な全体構想の見えるまちづくりを目指す。